Printed in China ⊘ WV30550

保証書別添付

J

ポータブルプレーヤードック

PDX-W61 取扱説明書

本機でできること

● Made for iPhone/Made for iPod ●

iPhoneまたはiPodに入れた音楽データを"迫力の低音、低歪、低ノイズ"で再生。
iPhoneまたはiPodの充電が手元でできる、便利な充電機能。

● AirWiredで簡単操作 ●

トランスミッターに挿すだけで、いつも使っているiPhoneやiPodがリモコンに。
ワイヤレスで電源・音量・再生をコントロール。
電源やソース切替などの操作は不要。

● おまかせミックス ●

iPhoneまたはiPodと外部機器の2つを同時に再生。
片方の音楽をBGMにするなど、楽しみかたはいろいろ。

● インテリジェントボリューム ●

トランスミッターからiPhoneまたはiPodを抜いても、次に挿したときには自動的に前回の音量で再生。
突然の大音量を防止してくれる自動音量調整機能搭載。

AirWired 「エアワイヤード」「AirWired」は、ヤマハ株式会社の商標です。

iPhone™、iPod™ iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれiPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

はじめに

■ 本紙について

· 💡 では知っておくと便利な補足情報を記載しています。

· ご注意 では本機を操作するときに留意すべき事項を記載しています。

■ 付属品

ご使用の前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

名称に記載されている記号(ⓐ や ⓑ など)は、クイックマニュアルに記載されている記号を表しています。詳しくはクイックマニュアルをごらんください。

ACアダプター(本体用)[ⓐ] ×1
電源コード[ⓑ] ×1

ご注意 本体にACアダプターと電源コードをつないでから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

トランスミッター[ⓒ] ×1
充電器[ⓓ] ×1
ACアダプター(充電器用)[ⓔ] ×1

ご注意 充電器にACアダプターをつないでから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ステッカー(無線に関するご注意) ×1
取扱説明書(本紙) ×1
クイックマニュアル ×1

主な仕様

対応iPhone ..... iPhone、iPhone 3G、iPhone 3GS
対応iPod ..... iPod(第5世代以降)、iPod classic、iPod nano、iPod touch
AUX入力端子 ..... 3.5 mmステレオミニジャック
最大出力(6 Ω、1 kHz、10 % THD) ..... 15 W + 15 W
電源電圧/周波数 ..... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力(iPhone/iPod/外部機器未接続時の消費電力)
　PDX-W61 ..... 10 W(1 W 以下)
　YIT-W11TX/YIT-W11BC ..... 4 W(0.5 W 以下)
通信可能距離 ..... 約20 m(妨害のないとき)
AirWired同時接続台数 ..... 最大7台(場所や状況により異なります)
ACアダプター
　本体用 ..... NU40-8150266-I3 (DC 15 V、2.66 A)
　充電器用 ..... MU12-G050100-A1 (DC 5 V、1 A)
外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ) ..... 350 × 125 × 109 mm
質量(本体のみ) ..... 1.7 kg

※本機は第4世代以前のiPod、iPod shuffle、iPod photo、iPod miniの無線接続には対応していません。外部機器としてAUXに接続してください。
※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

トランスミッターに表示されている「5V ⎓ 1.0A」は、iPhoneまたはiPod を充電するときの定格表示です。

本機を使用してiPhoneを充電している際、本機がiPhoneの電波に影響を及ぼす場合があります。通話時には、充電器から取り外してご使用ください。
また地域によっては、本機の電波とiPhoneの電波がお互いに干渉する場合があります。もし通話時に不具合を感じた際は、iPhoneをトランスミッターから取り外してご使用ください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠ 警告　この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

必ず実行　**電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。**
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

プラグを抜く　**下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
● 異常なにおいや音がする。 ● 煙が出る。
● 内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止　**電源コードを傷つけない。**
● 重いものを上に載せない。
● ステープルで止めない。● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行　**電源電圧(100 V)で使用する。**
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行　**本機を完全に主電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

設置

水ぬれ禁止　**本機を下記の場所には設置しない。**
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 雨や雪、水がかかるところ
● 加湿器を過度にきかせた部屋
水の混入により、火災や感電の原因になります。

禁止　**放熱のため、本機を設置する際には:**
● 布やテーブルクロスをかけない。
● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

禁止　**あおむけや横倒しには設置しない。**
故障やけがの原因となります。

必ず実行　**心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm以上離して使用する。**
ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

禁止　**医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。**
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

使用上の注意

接触禁止　**雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。**
感電の原因になります。

必ず実行　**本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。**
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止　**本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。**
●水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
●接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

分解禁止　**分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。**
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

手入れ

必ず実行　**電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。**
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意　この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

プラグを抜く　**長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止　**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因になります。

禁止　**電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。**
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

必ず実行　**電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。**
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

禁止　**電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。**
感電や発熱および火災の原因になります。

必ず実行　**付属のACアダプターを使用する。**
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

禁止　**ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。**
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

設置

禁止　**不安定な場所や振動する場所には設置しない。**
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止　**直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばや車内など)には設置しない。**
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

必ず実行　**他の電気製品とはできるだけ離して設置する。**
本機はデジタル信号を扱います。
他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

使用上の注意

禁止　**音が歪んだ状態で長時間使用しない。**
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

注意　**環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。**
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず実行　**外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**

プラグを抜く　**移動するときは、本機の電源コードを外す。**
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

手入れ

必ず実行　**手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。**
感電の原因になります。

禁止　**薬物厳禁**
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。
柔らかい布で乾拭きするか、汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、本機とディスプレイの距離を離してご使用ください。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

本機の無線方式について

「2.4」	2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「XX」	変調方式はその他の方式
「4」	想定干渉距離が40 m 以内
■■■	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

各部の名称とはたらき

名称に記載されている記号（A や B など）は、クイックマニュアルに記載されている記号を表しています。詳しくはクイックマニュアルをごらんください。

ⓒ トランスミッター（YIT-W11TX）　AirWired

iPhoneまたはiPodを接続します。接続することでパワーオンの状態になり、接続した機器を再生すると本体から音が出ます。
本機はトランスミッターからiPhoneまたはiPodを外したときの音量を記憶しています。次に接続するときには、記憶した音量で音が出ます。
iPhoneやiPodはいつでも接続したり、外したりすることができます。

ご注意
・iPhoneまたはiPodに保護ケースを付けたまま無理に接続すると、コネクターが破損する恐れがありますので、保護ケースを外して接続してください。
・トランスミッターはiPhoneまたはiPodのバッテリーで動作します。通常よりもiPhoneまたはiPodのバッテリーの消耗が早くなりますので、こまめに充電してください。

iPhoneで音楽を再生しているときに電話がかかってくると、自動的に一時停止します。通話を終了すると再開します。

ⓓ 充電器（YIT-W11BC）

トランスミッターに接続したiPhoneまたはiPodのバッテリーを充電します。

A グループセレクト

本体およびトランスミッターのグループを切り替えます。無線接続を行うには、同じグループを選択してください。
グループの切り替えかたは、クイックマニュアルをごらんください。

ご注意 本機を使用するときはトランスミッターのグループをAに設定してください。Bは他のAirWired搭載機器と通信するときに使用します。

同じグループを選択することで、1台のトランスミッターで最大7台のAirWired搭載機器と通信できます。

B 5V ⎓（ACアダプター）

ACアダプター（充電器用）を差し込みます。

C AUX

外部機器を接続します。接続することでパワーオンの状態になり、接続した機器を再生すると本体から音が出ます。

外部機器を接続するには3.5 mmステレオミニプラグケーブルが必要です。市販のケーブルをご使用ください。

ご注意 本機はAUXに3.5 mmステレオミニプラグケーブルを接続すると、パワーオンになります。本機から外部機器を外す場合は、AUXからケーブルを取り外してください。

D 15V ⎓（ACアダプター）

ACアダプター（本体用）を差し込みます。

E 🔉 / 🔊（音量）

音量を調節します。

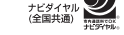
・本機が記憶している音量が大きい場合、再生時に自動で音量を下げることがあります。
・ACアダプターを外すと音量の記憶は消去され、次に接続するときには、あらかじめ設定されている音量で音が出ます。
・1台のトランスミッターで複数のAirWired搭載機器と通信している場合の音量調節は、以下のとおりです。
 - iPhoneまたはiPodで音量調節をすると、すべてのAirWired搭載機器の音量が上下します。
 - AirWired搭載機器で音量調節をすると、そのAirWired搭載機器の音量だけが上下します。
・iPhoneまたはiPodと外部機器を同時に再生している場合の音量調節は、以下のとおりです。
 - iPhoneまたはiPodで音量調節をすると、両方の音量が連動して上下します。
 - 外部機器で音量調節をすると、外部機器の音量だけが上下します。

F LED表示

iPhoneまたはiPod、本機の状態を表します。AUXに接続した機器の状態は表示されません。
緑は正常時、赤は異常時や限界値を表すときに点灯、点滅します。

本体		トランスミッター		状態
緑	赤	緑	赤	
●	○	●	○	iPhoneまたはiPodの接続が完了しています。
☀ 1回	—	☀ 1回	—	音量を調節すると、操作ごとに1回点滅します。 トランスミッターのLEDは、本体で操作したときだけ点滅します。
☀	○	☀	—	本機がiPhoneまたはiPodを認証中です。
○	○	○	○	iPhoneまたはiPodの再生を停止して30秒以上経過しました。
—	☀ 1回	—	☀ 1回	無線接続時に、音量が最大または最小です。 トランスミッターのLEDは、本体で操作したときだけ点滅します。
☀ 1回	☀ 1回	—	—	AUX接続時に、音量が最大または最小です。
—	☀	—	☀	iPodまたはiPhoneのバッテリー不足です。 充電してください。
●	☀ 2秒	—	☀ 2秒	本機に対応していないiPodが接続されています。 対応iPodについては主な仕様をごらんください。
●	☀	—	☀	本機がiPhoneまたはiPodの認証に失敗しました。 対処方法についてはトラブルシューティングをごらんください。
○	☀	—	—	本体でなんらかのエラーが発生しています。 対処方法についてはトラブルシューティングをごらんください。
—	—	○	☀	トランスミッターでなんらかのエラーが発生しています。 対処方法についてはトラブルシューティングをごらんください。

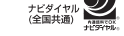
● …点灯　☀ …点滅　○ …消灯　— …直前の表示を継続します

トラブルシューティング

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでお問い合わせください。
無線接続に関するお問い合わせの際は、本機のまわりで使用している無線機器の情報（メーカー、品番など）もあわせてお知らせください。

症状	原因	対処
音が出ない。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	iPhoneまたはiPodがトランスミッターにしっかり接続されていない。	しっかり接続しなおしてください。
	外部機器がしっかり接続されていない。	本体とケーブルとをしっかり接続しなおしてください。 ケーブルと外部機器本体とをしっかり接続しなおしてください。
	iPhoneにイヤホンが接続されている。	iPhoneからイヤホンを外してください。
	トランスミッターからの電波が金属や人体でさえぎられている。	トランスミッターの向きや位置、持ちかたを変えてください。
	周囲に2.4 GHz帯の電波を出す機器がある（電子レンジや無線LANなど）。	本機をそれらの機器から離してご使用ください。
	本体とトランスミッターが離れすぎている。	本体とトランスミッターを近づけてください。
	iPhoneまたはiPodのバッテリー残量が少ない。	iPhoneまたはiPodのバッテリーを充電してください。
	本体の電源が入っていない。	ACアダプターを正しく接続しなおしてください。
	本機がiPhoneまたはiPodを認証中です。	iPhoneまたはiPodが認証されるまでお待ちください。
	本体とトランスミッターで、異なるグループが選択されている。	同じグループを選択してください。
	他のAirWired搭載機器と通信している。	本体とトランスミッターのグループを切り替えてください。
	音量が大きすぎて保護回路が働いた。	音量を下げてください。
iPhoneまたはiPodの音量を調節しても、音量が変わらない。	本機に対応していないiPodが接続されている。 または、トランスミッターにしっかり接続されていない。	本機に対応しているiPodを接続してください。 または、しっかり接続しなおしてください。
iPhoneまたはiPodをトランスミッターから外しても、本体のLED表示が消えない。	他のAirWired搭載機器と通信している。	本体とトランスミッターのグループを切り替えてください。
iPhoneまたはiPodを接続していないのに、突然音が出た。		
無線通信中に音が途切れる。	無線通信で使用している周波数にノイズが発生すると、本機は使用されていない別の周波数を探して切り替えます。このとき、音が途切れることがあります。	故障ではありません。頻繁に音が途切れる場合は、本体の設置場所を変えてください。（Wi-Fiルーターなどから離してください）
赤のLEDが点滅し続ける。	iPhoneまたはiPodのバッテリー残量が少ない。	iPhoneまたはiPodのバッテリーを充電してください。
	iPhoneまたはiPodが認証されていない。 または、本体またはトランスミッターでなんらかのエラーが発生している。	・しっかり接続しなおしてください。 ・iPhoneまたはiPodを再起動してください。 ・iPhoneまたはiPodのファームウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。 ・本体とトランスミッターのグループを切り替えてください。 ・電源プラグを抜き、しばらくしてから再度差し込んでください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通）　0570-011-808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL （053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ ヤマハオーディオ＆ビジュアルサポートページ
お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。
http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通）　0570-012-808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL （053）460-4830
FAX （053）463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 9:00～17:45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

北海道　〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏　〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

名古屋　〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪　〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州　〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？
● 電源コード・プラグが異常に熱い。
● コゲくさい臭いがする。
● 電源コードに深いキズか変形がある。
● 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
● 電源を入れても正常に作動しない。
● その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1